

PBI は、地域紛争や暴力的紛争に対して、武力を用いない方法による解決促進やその支援をしています。世界中の人々が共に働きかけることで、非暴力的にそれらが解決できるのだということを実践で示している国際 NGO です。

§1 日本人ボランティアが

インドネシアプロジェクトに派遣されます！

・インドネシアでは現在でも数多くの国内紛争や武力衝突が起きています。例えば、アチェ、西パプアにおける独立紛争や西カリマンタンでの部族間の争いなどです。また現在に至るまで多くの人の命が武力行使によって失われ、また大勢の人が精神的そして肉体的に傷を負っています。

・PBI はその事実に対して、非暴力的方法を用いて解決を図ろうと努力しており、現在はアチェと西パプアに関する活動をしています。現在、PBI のオフィスはメダン、ジャカルタ、ジャワブラにあります。今年 11 月にメダンオフィスを閉鎖し、アチェに再度オフィスが構えられるようにインドネシア政府に働きかける予定です。また今後活動地域を増やしていく計画もしています。

・このインドネシアプロジェクトに、日本人としては 2 人目となる藤村陽子が 2004 年 9 月より派遣されています。

§2 PBI の歴史と理念

・PBI は、インドのマハトマ・ガンジー提唱のシャンティ・セーナ (Shanti Sena/非武装、非暴力の平和隊) と、世界平和旅団 (World Peace

Brigade) の思想に基づき、1981年にカナダで設立されました。PBI は非暴力、中立性の精神を基に活動する国際 NGO です。

・PBI は要請にもとづき、紛争地域に世界各国のボランティアから構成された非武装・非暴力のチームを派遣し、非暴力・直接行動・中立の立場から支援することにより、暴力的衝突の可能性を減少させ、地域の人による非暴力的解決を促進します。

・国際事務局はロンドンに置かれ、支部は欧州 12 カ国、ニュージーランド、オーストラリア、カナダ、インド、アメリカ、チュニジアの世界 18 か国にあります。日本にはまだ設立されていません。

・現在はコロンビア、インドネシア、メキシコにボランティアを派遣し、活動していますが、過去にはグアテマラ、エルサルバドル、スリランカ、ハイチなどでも活動していました。

§3 PBI の活動内容

1) 護衛的同行 (Protective Accompaniment) : 暗殺、誘拐等の命の危険に脅かされている人権活動家や難民に対して同行することで、脅威を未然に防ぎその命を守ることで、地元の人による人権活動が続けられるように側面から支援します。

各国のボランティアから構成された PBI のチームが同行することによって、「世界の人々が注目している」ということを示すことにより PBI が付き添っているグループ・個人に加えら

れようとしている暴力を抑止します。

2) 対立する当事者間の交渉や和解の促進:
PBI は自立・自治を尊重し、両者が安心して話し合える空間は提供しますが、意思決定には関与しません。

3) 国際的監視と情報の発信:
人権侵害は知られないことによってエスカレートします。現場にいて、中立の立場から、起きている人権侵害の事実を「目撃者」として世界へ発信することによって人権侵害、暴力的状況を抑止します。

4) 平和教育:
その地域のコミュニティーや NGO などに、紛争の非暴力的解決やジェンダー問題、そして人権などに関するワークショップやトレーニングを提供しています。

5) 緊急行動ネットワーク
(Emergency Response Network、ERN) :
PBI が現地で同行している個人・グループあるいは PBI のボランティアに対して、殺害や危害を加えるなどの生命の安全をおびやかす脅迫、不当拘禁・国外追放等があった場合、現地チームの要請により各国の支援者に緊急連絡がまわり、当該の政府、団体に対し憂慮の念を表明する、抗議や要請の電報・電話、ファクス、メール等を世界中から送り、

現地の人々の安全がはかれるよう圧力をかけます。

§4 サポートグループについて

PBIの「武器」は国際的な支援の輪です。地元活動家、PBIボランティアの安全は国際的支援の輪に依存していると言っても過言ではありません。その意味において、現地で活動しているボランティアはもちろん、各国の支援者も重要な役割を担います。

支援者で構成されるサポートグループは

- 緊急救援ネットワークが発動されたときに、抗議・要請文を送る
- プロジェクトへのカンパ集め
- PBIの各プロジェクトの活動報告・通信を配布
- 派遣されてるボランティアに激励の手紙を送る
- 帰国後の報告集会を開く
- ボランティア募集、その他などをしてプロジェクト、派遣ボランティアを支援します。

§5 支援参加の仕方

支援参加については、カンパのご協力、サポートグループに参加し、ERNなどを含めた総合的なご協力を始め、皆さん一人一人にあった参加形態があると思います。どのような形でも支援参加の意思表示をしていただければ、それがPBIとそのボランティアの多大

な支えとなります。またご参加いただいた方々にはボランティア（藤村陽子）がインドネシアから定期的に状況報告のメール等も配信します。皆さん一人一人のご支援がプロジェクトならびにボランティアの活動を支え、目標に向けて後押ししてくれることに間違いはありません。インドネシアの平和とPBIのボランティアの活動をみなさんと支えてください！ よろしくお願ひします。詳しくは下記に掲載の非暴力平和隊または藤村陽子までお問い合わせください。

藤村陽子 連絡先（日本語・英語）
yokos_temanbaik@hotmail.com

【カンパ送り先】

郵便振替口座：00160-5-463412
口座名：PBIサポートグループ

【サポートグループの連絡先】

非暴力平和隊・日本(NPJ) 気付
〒113-0001
東京都文京区白山 1-31-9 小林ビル3階
TEL 080-5520-3077
Fax 03-5684-5870
メール npj@peace.biglobe.ne.jp

非暴力平和隊ウェブサイト
<http://www5f.biglobe.ne.jp/~npj/>
<http://www.nonviolentpeaceforce.org/>

Peace Brigades

International

(PBI: 国際平和旅団)

~ 武力の力に頼らず、紛争を解決していく ~



PBI 日本サポートグループ
非暴力平和隊・日本 (NPJ) 気付
npj@peace.biglobe.ne.jp
<http://www5f.biglobe.ne.jp/~npj/>
PBI ウェブサイト
<http://www.peacebrigades.org/>